

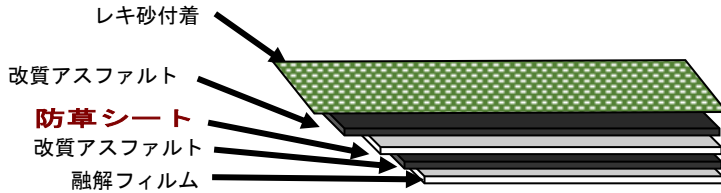
耐用年数20年強の防草シート

## ソリッドニューマット

表面レキ砂塗布処理 改質アスファルト+高密度ポリエステル長繊維不織布

構造断面 厚み=4mm 質量=4000g/m<sup>2</sup> (40kg/巻)

【表面処理】



### 《特長》

- ※中間層に【基材としてポリエステル長繊維不織布=防草シート】を入れている。  
⇒《貫通抵抗性に非常に優れているので、強雑草の貫通を防ぎます》
- ※優れた遮光性（100%）、遮水性能  
⇒《アスファルトシートの優れた特性をそのまま生かし、超長期間の防草効果を獲得しました。》
- ※非常に優れた耐久性・耐候性  
⇒《高耐久性アスファルトシートに特殊な処理で塗布したレキ砂が風雨による耐候劣化を防止します。》
- ※優れた柔軟性  
⇒《従来の改質アスファルトシートよりも非常に柔軟性があり、地表面に非常に馴染みます。》

### 施工手順と施工上の注意（詳細は別紙施工手順をご参照下さい）

- 準備工①除草（雑草を除去して下さい※非常に強力なシートなので伐根までは必要ありません）  
②整地（凹凸が激しい場合は、砂等を投入して均一にして下さい）
- 本施工 ★重ね部の溶着は、カセットガス程度のバーナー炎で十分溶着可能です。
- ③シート敷設（シートを施工する箇所に敷設し、位置・寸法の確認をします。）  
④シート溶着処理（接合ラップ部の剥離紙を剥がしてバーナー炎で炙ります）ピン打設後も可能  
※溶着後すぐのシートの剥がし直しは可能ですが、繰り返しの剥がし直し作業は控えて下さい。
- ⑤端部処理及び固定ピン打設（コンクリート部への接合は、プライマー塗布後、バーナー炎で溶着して下さい。  
（端部が土の場合固定ピン+ワッシャーを約50cmピッチで打設します。）※重ね部はピンのみで打設後溶着します。
- ★詳細は別紙施工方法をご参照して下さい。※法面・平面によって施工方法の詳細が変わる場合がございます。  
★非常に融解しやすいので、高火力のバーナー炎を使用する場合は炙りすぎに十分ご注意ください。  
★法面施工で法肩から法尻にかけてシートの下に雨水等が流れ込む現場では排水を考慮の上ご使用下さい。



名称	色	タイプ	規格
ソリッドニューマット	グリーン グレー	片面溶着タイプ	1m幅 × 10m巻 (溶着部 10cm)
		表面全面レキ砂タイプ	1m幅 × 10m巻

TS 谷口産業株式会社

〒597-0094 大阪府貝塚市二色南町 8-3  
TEL: 072 (432) 1828 FAX: 072 (432) 1838  
URL: <http://www.ts37.co.jp>



# ソリッドニューマツ 施工手順

※本製品の溶着には火気を使用しますのでご注意ください。

## ■シートの敷設



①施工前

施工箇所はあらかじめ、除草・整地を行ってください。



②シートの展開

シートを必要箇所に展開して仮敷きを行います。



③固定ピンの打設

ワッシャーをセットし固定ピンを打設します。



④固定ピンの打設II

シート外周部分を 50cm ピッチで打設してください。

## ■シート延長方向の重ね合わせ溶着



①表面保護砂の削り

シートを 10cm 重ね合わせ、下側にくるシート表面の保護砂部分をバーナーで炙ります。



②シートの貼り合わせ

シートの裏面をバーナーで炙り、先程表面保護砂部分を炙った箇所と貼り合わせます。



③転圧

炙って裏面が溶けているうちに、ゴムハンマーやローラーなどで転圧をし、確実に密着させます。



④固定ピンの打設

重ね合わせ部の上から 50cm ピッチで固定ピンを打設します。

## ■シート幅方向の重ね合わせ溶着



①シートの展開

片面溶着タイプを使用の上、重ね合わせの位置にシートを展開し仮敷きします。



②固定ピン打設と離形紙の取り外し

シート片側に固定ピンを打設し、剥離紙を剥がします。



③シートの貼り合わせ

シートの上に重なる側の裏面をバーナーで炙り、溶着剤部分と貼り合わせます。



④転圧と固定ピンの打設

溶着箇所をハンマーやローラーで転圧後、重ね合わせ部の上から 50cm ピッチで固定ピンを打設します。

## ■コンクリート躯体との接着



①プライマー塗布面の清掃

水分・砂・ホコリ等を完全に除去します。(除去が不完全ですとプライマーの性能が低下します。)



②プライマーの塗布

厚塗り・薄塗りに注意し、均一に専用プライマーを塗布した後、十分にプライマーを乾燥させてください。



③シートの貼り付け

トーチにて均一に炙りながら接着します。(貼り直しはシートの性能が低下します。)



④転圧

炙って裏面が溶けているうちに、ゴムハンマーやローラーなどで転圧をし、確実に密着させます。

## ■仕上げ



①端部フィルムの焼却

端部フィルムの焼却と合わせて重ね部を軽く炙ります。



②炙り残しの確認

炙り残しが無いかヘラにて最終チェック。



③施工完了

裏面の溶着参考資料を目安にシートを炙ってください。



## ソリッドニューマツト 溶着参考資料

### ■プライマーの乾燥具合

×



プライマーが手に付く

○



プライマーが手に付かない

塗布面を十分に乾燥させます

### ■シールの炙り具合



トーチ・バーナーを使用してフィルム層を完全に溶かし、アスファルト層が溶け出すまで炙ります。  
※時期や火力によっては融解が早いこともありますので、表面の変化具合を確認しながら炙って下さい。

× 炙り不足



フィルム層が溶け切っていないので十分な粘着が得られません。

× 炙り過ぎ



炙り過ぎるとシートが変形し、表面にもダメージが入り十分な防草効果が得られません。

○ 完全に炙れている状態



裏面のアスファルト層が溶け出したら冷え固まる前にすぐに接着面へ貼り合わせて転圧します。

### ● 注意事項！！

- ※ プライマー塗布前、シール貼り付け前は、必ず砂埃の清掃を行って下さい！
- ※ 均一に、炙り残しが無いようにお願い致します。炙り後すぐに貼り付けて下さい！
- ※ 転圧は、貼り付け後シールが熱いうちに行ってください。特に端はローラーなどを使って確実に！
- ※ 最終、炙り残しによる接着不良ないかチェックをお願いします！  
(施工直後は熱によって接着しているが、完全に炙っていない箇所は冷めると剥がれてしまう)
- ※ 炙りすぎると穴が開きますのでご注意ください！